

京林大だより

No.84



令和7年度 卒業研究発表会

卒業論文

「卒業研究発表会」

卒業論文

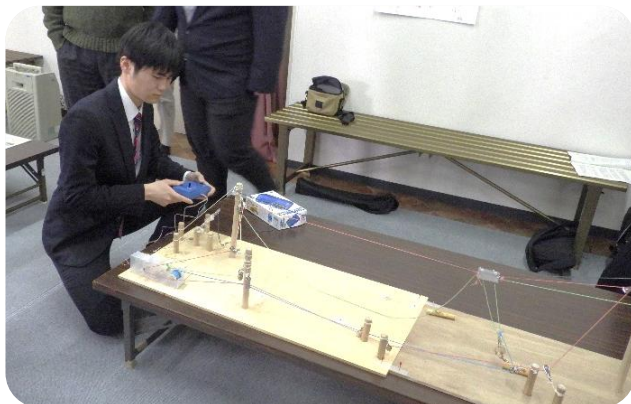
2月17日（火）わち林業センターにて、2年生（第13期生）11名が2年間の集大成である卒業研究の成果を発表しました。

同期生の筋トレ成果をモニタリングした「1年目の林業マンに備わっておいた方がよい筋肉量」や架線集材や特殊伐採の技術を模型で示した研究、木の実に含まれる成分による洗浄効果を調べた研究など、ユニークな発表が多く、質疑応答も大いに盛り上がりました。

学生たちには、卒業研究を最後まで粘り強く取り組んだ経験を糧に、卒業後もそれぞれの現場で活躍してほしいと思います。



【林業マンに必要な筋肉量について調査】



【林業架線模型の操作実演】



森で学び、未来へつなぐ 卒業生からのメッセージ

入学当初は、同じ道を進む仲間として切磋琢磨していくのだと思っていました。しかし今では、それだけでなく、共に林業を楽しみ、プライベートでも時間を共有できる親友となっています。現場だけでなく、互いの知識を高め合える、かけがえのない存在だと感じています。

林業大学校で学んだ技術と知識、そして築いた人間関係を宝として、卒業後も林業の道に励んでいこうと思います。
(林 ころこ)

林業大学校での2年間は、多くのことを学んだ貴重な時間でした。特にドイツ研修では、異国の地で森林・林業について、仲間と楽しみながら学ぶことができました。これまでの多くの学びを胸に、林大卒業生として、誇りをもって林業に携わっていきたいと思います。

(小井井 光季)

実践的な授業を通して、森林・林業について幅広く学ぶことができました。また、さまざまな目標をもつ仲間たちと2年間で共に過ごし、とても楽しい時間になりました。

卒業後は、学んだ知識や技術を生かし、地域に寄り添う仕事に取り組んでいきたいと思っています。

(宮崎 琴里)

林業大学校での2年間は、実習や授業を通して森林の大切さを学んだ濃く充実した時間でした。仲間と励まし合いながら乗り越えた経験は、大きな成長につながり、ドイツ研修や京都の木と文化に触れたことで視野も広がりました。

これからは、林大で得た学びを生かし、地域の森林づくりに貢献していきたいです。
(白須賀 悠希)



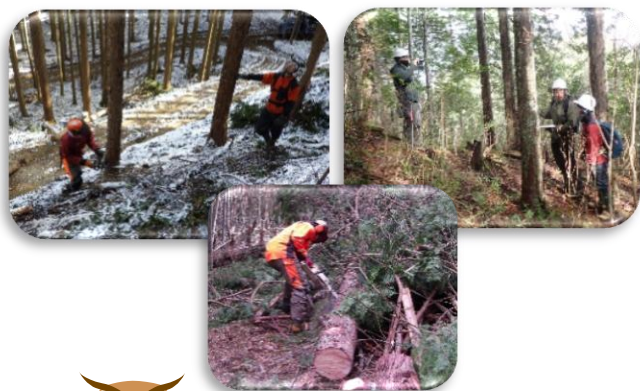
インターンシップ (職業体験)

今年も府内6つの森林組合にお世話になり、1年生（第14期生）12名がインターンシップ研修に参加しました。

研修期間は3月2日(月)から3月6日(金)までの5日間で、学生にとっては、講義や実習で学んだことを現場で実践する良い機会となりました。

研修先の皆様には、できるだけ多くの業務を体験できるよう日程を調整していただき、また、作業方法について丁寧に御指導・御助言を賜り、誠にありがとうございました。

今回の研修で得た経験を基に、学生たちがさらなる実力を身につけて就業へとつなげていけるよう、今後も引き続き取り組んでまいります。



校長室より

校長 大下 起代

この度、卒業する13期生11名は、この2年間で、顔つきは凛々しく、体つきは逞しく、大きく成長しました。

入学して間もなく挑んだ大江山での1泊2日の50キロ縦走に始まり、夏休みまでは各種機械資格取得のための座学・試験、実技実習と最終試験の繰り返し、そして猛暑の中での刈払い、チェーンソーによる伐木・造材実習と、厳しい日々を乗り越えてきました。秋からは、調査、測量、作業道の作設、樹幹解析などをより深く学び、冬には高性能林業機械操作や林大祭にも力を尽くしました。

2年生になると、ドイツ研修、キャップストーン研修、三林大伐木選手権、卒業研究、特別研修と続き、育林・育苗、林業経営、木材、樹木実習、公共政策など多岐にわたる学びを積み重ね、2年間で2,000時間以上を共に学んできました。

実習前に繰り返し行ったタッチアンドコール。円陣を組みその日の安全目標を唱和し、安全作業の徹底を胸に刻んで実習へ臨んだ皆さんの姿は、今でも鮮やかに思い出されます。仲間の肩に手を添えたときに伝わる温もり、「安全にやり切ろう」と思いを一つにしたあの瞬間を忘れず、これからも山の現場ではいかなる時も“安全第一”を貫いてください。

林大での学びを糧とし、家族や地域の方々、講師や先生方からいただいた支えと温かな思いを胸に、思いやりを忘れず個性を輝かせ、元気に力強く活躍されることを願っています。

2年間、皆さんと共に深く森林・林業に関わりながら学べたことを、心から嬉しく思います。13期生の皆さん、自信を胸に、前進あるのみ！



今月の授業参観

『高性能林業機械操作士』2名合格！

高性能林業機械操作士は林業専攻の学生が取得可能な京都府独自の資格です。チェーンソー・スイングヤーダ・ハーベスタ・フォワーダ4種の林業機械操作試験と筆記試験において、すべての試験点数が基準を超えた受験者に資格が与えられます。

今年度の資格試験合格者は、2名となりました。

田中 裕三 君 林 ころろ さん

合格おめでとうございます。この難関試験を見事突破した学生を含め、卒業生全員が林業技術者として現場で活躍することを期待しています。

『森林公共政策士』3名合格！

森林公共政策士は、森林公共人材専攻の学生が取得可能な京都府独自の資格です。

今年度は、京丹波町から「地域の活性化に向けて、京丹波町の豊かな森林と人をつなぐ取組」というテーマをいただき、森林と人の新たな関係をつくりだす仕組みとして、京丹波町の森林と若い女性の関心を組み合わせたツアーを提案しました。

また、卒業論文審査会の結果、今年度の資格認定者は以下の3名となりました。

大山 龍貴 君、小酒井 光季 君、宮崎 琴里 さん

合格おめでとうございます。就業後には、様々な地域課題の解決に向けての活躍を期待しています。